



9月17日(土) 教育会館中会議室を会場に、第1回中央委員会が開催され、参加中央委員は11名でした。

執行委員長あいさつ【概要】  
 コンプライアンスという言葉には追従、へつらいの意味もある。多くのユダヤ人を救った杉原千畝やアンネ・フランクを保護したミース・ヒープはコンプライアンス違反をしたからこそ、人としての道を全うできた。単なる法令遵守ではなく、人と



して今どう行動すべきかを優先する感覚を教師は忘れてはならない。民主主義は「反対者と共に歩む」覚悟を必要とする効率の悪いシステムだが、第二次大戦後、二度と同じ過ちを繰り返さないようにと文部省(当時)も教科書「民主主義」を作り、その大切さを訴えた。そこには労働組合の必要性も述べられている。民主主義を体現するために本日も活発な議論をお願いしたい。

《発言要旨》

□東宮(渋川青翠)



・非常勤の待遇改善について。一時金「同一校勤務10コマ以上で年間3コマ分」の支給要件緩和を。  
 ・非常勤の辞令は一学期末で切れ二期にまた辞令が出るが、夏休み中を勤務なしとすれば通年で問題ない。でないコマ数が少ない一学期に年休が取れないケースもある。  
 ・若手にも『まど』でアピールすれば拡大につながる。

□坂本(高経附)

・高経附でも、芸術科目では非常勤の先生が長期休業中に生徒指導している。校長は、勝手に来て指導しているから手当て無しのレストラン。部外者が勝手に指導をしていることを暗に認めているのか？

□田口(前橋清陵)

・「公仕さんから」学校によって扱いが異なり戸惑う。オートマの公用車や超過勤務手当、エアコン、シャ

ワー室など、県で揃えてほしい。  
 □原田(安中総合)



・焼却炉の学校廃止に伴い、以前は公用車の要求をしていたが、教校が優先された。県は、予算もなく現有車で賄ってほしい、全校配備困難との回答。シャワー設置率は45%で、今後も働きかけたい。(清陵の公仕さんに) 会いにいきます。  
 ・国人勧で月例給の若手UPは、地公臨もややうらしい。  
 ・在校時間記録では、職員が超勤でも勤務時間内に近づけて記録しているが、管理職はスルー。農業系では、早朝4時半から収穫するが実際には記録しない。事務職員が徹夜で書類作成しても予算がないから超勤は付かない。管理職が指示すれば超勤対象になるが本場にブラック。結論は人を増やすしかない。

□澁谷(前高特)

・みなさんはちゃんと勤務時間の記録を付けてますか？高商の東海

林さんは記録しても管理職から紙を渡されるだけ。県教委は記録だけを見てものを言う。面倒だがしっかり記録して言い続けるしかない。

・学校で異なる対応例に、「地公臨がコロナにかかったら病休。年休を使い切ったら欠勤」と誓っている学校もある。県教委確認では、「コロナ休は通常の病休とは別扱い。」県教委の見解が現場に届いていない。  
 □八重樫(渋川工)



・校長が実習職員の任用替えの仕組み自体を知らず全く配慮がない。基本的なことは県がしっかり指導して欲しい。

・今年度初めて職場アンケートを実施し、校長交渉を行った。エアコン設置、面談日程の増加、一人職の年休取得改善などを申し入れた。

・科会議で実習評価の意見とまらず観点別評価はすりあわせ必要。  
 ・高校入試一本化早めにガイドラインを。

□吉澤(勢多農)



・いじめ対策委員会のコンプライアンスはいじめの解決につながるが、時には逆に問題を大きくすることもある。他校の様子は？

□水田(伊商)

・いじめ対策アンケートの対応次第ではクレーム。早めに掘り上げる必要もあり、やっぱりバランス。うちはまだバランス感覚が働いている方。

□澁谷(前高特)

・生徒指導では、コンプライアンスの意識が高いが、根掘り葉掘りでお互いにストレス。主事交代で変化。生徒の声をどれだけ聞けるかがポイント。ちゃんと声を聞けば解決することは多いが、いじめ対策委で根深くなるケースもある。

□吉澤(勢多農)

・「気がする」レベルでも取り上げる。コンプライアンスで、保護者に連絡し報告書を作成する。

□澁谷(前高特)

・迂闊に上に上げられない。隠れていく場面も。そういう問題(II)人とう向き合うか。学校がそういう方向になっている。ドリルで生徒の力は伸びるが、それは学校の役割ではないのでは？生徒は必ずトラブルが、それをどう落着かせるか？学校の機能低下が心配。

□茂木(前商)

・赴任初年で2学年担任だった頃、4月初めのクラス委員決めで生徒同士がトラブルだったが、委員長が間に入り話し合いで解決。第3の教師的存在。教員が先回りして機敏に動くことで生徒同士の問題解決力を奪う。規制はかけない方がいい。教員が介入しなければならぬ時はもちろん介入する。

□鈴木(藤工)

・勤務時間記録はきちんと付けようが付けまいが何も変わらない。

□東宮(渋川青翠)

・秋の賃上げ状況心配。日本だけが給料上がらず物価上昇。以前あった人勤無視の減額は未だに恨み。賃上げ担当の方が良いのではないかと担当分掌を減らしそれを責任持つ。

げ闘争がなばってほしい。

・文科省指定で他校生に少人数のリモート授業をしている教員がいるが、当該校の教科担当は関わっていない。リモート担当者の方は自校行事にも支障が出ている。

□澁谷(前高特)

・教育的観点でなく経済的観点になっている。そのうち機器の操作ができればOKに。そんなのあり得ないでしょ。

□今井(前工)

・今回の国人勤で賃上げは30代前半まで。中高齢層は上がらない。再任用を安く使うから中高齢層を安くの方向にシフトしてきている。

・今年引き上げが令和13年で完成。現在40代後半の人から実質昇給なし。自分の事と捉えて声を上げていかないといけない。

□東宮(渋川青翠)

・給与カーブ40代後半からでは、晩婚化が進む昨今、子育て年代が直撃。

□澁谷(前高特)

・青年層もしっかり目を向けてほしい。55歳昇給停止、65歳定年では10年間UPなし。モチベーションが維持できない。

□今井(前工)

・あとは人事評価で差をつけようとしている。

□東宮(渋川青翠)

・インフレ進めば給与上がる？

□春山(前東)

・東宮さん発言は幻想だと思う。インフレでも何もしなければこのまま。組合として要求を出していかないと上がらない。

□水田(伊商)

・人事委員会に働きかけ世論をつくる。

□澁谷(前高特)

・民間が上がらなければ我々も上がらない。民間のことも考え手を携えてゆかないと。

□春山(前東)

・老朽化対策でエレベーター設置が実現。県への働きかけの成果。要求してきてよかった。物価高が続き賃金アップに向けて高教組として

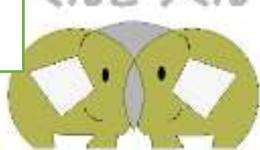
一大キャンペーンを張るべき。

□坂本(高経附)

・教育学部への進路希望者は学年が進むと少なくなっていく。仕事の良さを伝えて後に続くものを増やしていく必要がある。



### ぐんぞうくん



### 復活☆

中央委員会後半は、何かよく分からない熱気に包まれ、盛り上がり(連帯感)が感じられましたね。

さて復活の狼煙はあげたものの、具体的な動きは自転車操業中ですが、次回3月の中央委員会では、ぜひ新加入の組合員を紹介したいものです。

秋